大仙市立西仙北中学校

羽ばたこう 立志の丘から

平成２９年度　学校通信

平成２９年１０月２６日

No.２６

にしせん駅伝･マラソン　1B圧勝！

20日は、５分間走や部活動の成果を発揮し、体力の向上や体の変化を個々が実感する機会として、また選手の選考や駅伝・マラソンを通して、よりよい学級づくりを継続することをねらいに、「にしせん駅伝・マラソン大会」を行いました。

各学級対抗に燃え、激走する選手、自分の体力向上をねらいに粘り強く走る選手、それぞれ全力を尽くした大会になりました。

体育委員会主催の学級対抗駅伝は、男女各５名による10区間で行われました。駅伝部員が多数所属する１年Ｂ組が圧倒的な速さで優勝し、２年Ａ組、２年Ｂ組が続きました。マラソンの部の総合では、男子は１位が３年の金子君、２位が１年の大友君、３位が２年の田村君で、女子は、１位が１年の佐藤さん、２位が同じく１年の佐々木さん、３位が２年の堀江さんの順でした。表彰は各学年ごとで行われ、入賞者には賞状とメダルが贈られました。おめでとうございます。

なべっこ、ひまわり撤去(冬眠)

また、駅伝・マラソンの後には、各グループごとに献立を考え、準備した「なべっこ」を行いました。なべっこは、秋田独自の学校文化という話もあります。秋の風物です。少し雨が降りましたが、自転車置き場に会場を変更して楽しく行いました。スポーツの秋、食欲の秋、そして、友達との友好を深めた秋になりました。

その後は、「世界一のひまわり」を全校生徒・職員で撤去し、来春の開花まで、冬眠となりました。お疲れ様でした。少し肌寒かった一日でしたが、充実した秋の一日でした。お疲れ様でした。

【うれしいニュース二題】

23日月曜日、誕生日を迎えた学級担任、学級の黒板に生徒の手によるお祝いメッセージがありました。

朝の会で、学級の戸を開けた瞬間に、生徒たちからはお祝いの拍手。こんな心遣いのできる人間関係、学級の生徒と担任の関係が大事ですね。朝から、うれしい気持ち、ほのぼのとした気持ちにさせられた週初めでした。

また、22日の日曜日には、道路で倒れていた人を、通りがかった２年生と１年生の男子生徒二人が見付け、目の前の西仙北支所の職員に異変を伝え、事なきを得たというお話もありました。「とっさの判断と行動がすばらしかった」と、翌日、職員から改めて連絡がありました。

二人の行動力に讃辞を贈ります！

読書感想文コンクール　一席3年工藤君

毎年行われている読書感想文等コンクールの中で、「第63回青少年読書感想文全国コンクール大曲仙北審査」において、課題図書３年の部で工藤君が 「『記憶』～亡くなった人と共に生きる」（書名「ホッパーウィル川の伝説」）という感想文で、見事一席に輝き、県コンクールに出品されることになりました。おめでとうございます。

また、自由読書３年の部では、 佐々木さんが「消えない宝物」（「夏の朝」）という感想文で二席で県に出品です。「真逆から，または向かいから」（「特殊清掃　死体と向き合った男の20年の記録」）という感想文で、石木田さんは三席に輝きました。自由読書１年の部でも、田村さんが「『こちらナースステーションわたしの看護日誌』を読んで」で、田口さんが「『この闇と光』を読んで」で、三席でした。この他にも、２年の高橋君、太田さん、１年の森君が入選しました。

読書は心の栄養ともいわれます。今後も読書に親しみ、大きく成長してほしいと思います。入選入賞おめでとうございます。

深秋～1年生ソフトテニス大会

秋も深まってきました。

22日には、神岡のテニスコートにおいて、「ソフトテニス１年生大曲仙北選考会」が行われました。

本校から出場したペアの内、高橋・澤田ペアがベスト８、瀧澤・佐々木ペアがベスト９ということで、１１月１２日に、大館のドームで行われる全県１年生大会の出場権を得ました。

全県新人戦に続く、益々の活躍を期待します。

国際教養大学との異文化交流

25日は、大仙市観光交流課及び教育委員会で行っている「国際教養大学との異文化交流事業」を２年生を対象にして行いました。

これは、外国の文化やものの見方・考え方を知り国際的な視野を広げるとともに、英語による自分の学校や地域の紹介、大学生の出身国の特色のプレゼンテーション等によって、コミュニケーション能力の向上をねらいとする交流事業です。また、何よりも教室で学んでいる英語が実際にどのくらい通じるかという生きた学び、社会に開かれた教育課程の実践でもあります。

当日は、２年Ａ組Ｂ組がそれぞれ６班編制により、台湾やロシア、ブルネイ、ニュージーランド、ベトナム出身の大学生と実際に英語を用いて交流しました。生徒たちは、英語で自分の名前や趣味、部活動などを紹介して自分を知ってもらいました。また、大学生からは、自分の国の位置や食べ物、服装などを写真とともに紹介してもらいました。時間がたつにつれて、交流が深まり、互いに笑顔でコミュニケーションが図られていました。お陰様で、貴重で、有意義な交流活動になりました。学生の皆さんは、本校生徒の英語力を褒めてくれるとともに、「ちょっとシャイなので、もっと積極的になって」というアドバイスをいただきました。来校してくださった国際教養大学の皆さん、ありがとうございました。

See you again
Ещё раз увидимся
hngpli
Jumpa lagi.
謝謝、再見

大仙市教育アドバイザー来校

26日、大仙市教育委員会の青谷教育アドバイザーが来校され、本校の学校経営等について、ご指導ご助言を賜りました。

大仙市教育委員会では、学校経営等全般にわたって指導・助言をしてくださる青谷教育アドバイザーをはじめ、外国語教育や特別支援教育についての専門的アドバイザー３名が在籍して、各学校に指導・助言をくださっています。青谷先生は，本校には今年度２回目の訪問で、春には１年生の授業を参観していただきましたので、今回は２・３年生の授業を中心に参観の上、「大仙教育メソッド」や学校の課題、進路指導等についてご指導を賜りました。中でも英語科の明るい雰囲気での授業に感心していました。ありがとうございました。指導を生かして今後の学校経営等に努めたいと思います。